



2023年2月7日

各 位

会 社 名 クリヤマホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役CEO 小 貫 成 彦  
(コード番号 3355 東証スタンダード)  
問い合わせ先 執行役員管理部長 元 木 雄 三  
(電話番号 06 - 6910 - 7013 )

### 通期連結業績予想の修正および剰余金の配当（特別配当）に関するお知らせ

当社は、2022年2月14日に公表した2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、本日開催の臨時取締役会において、2022年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行う旨の議案を2023年3月28日開催予定の第83期定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、合わせてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正について

##### (1) 2022年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	63,000	4,300	4,700	3,200	164.02
今回修正予想（B）	71,475	4,560	4,971	3,637	186.23
増減額（B－A）	8,475	260	271	437	
増減率（％）	13.5	6.0	5.8	13.7	
（参考）前期連結実績 （2021年12月期）	59,549	4,302	4,778	3,809	195.32

##### (2) 修正の理由

2022年12月期通期連結業績予想につきましては、海外事業において各種ホース・継手等の旺盛な需要に対応するための商品供給体制を堅持し、世界的なインフレに伴う石化燃料や資材価格等の高騰を価格転嫁等で相応に吸収できたことにより増収となりました。加えて、期中において円安が急速に進行した影響もあり、連結売上高が前回予想を上回る見込みとなりました。

また、原材料コストや物流コスト、特に欧米における人件費の高騰が価格転嫁のペースを上回る状況が続き、営業利益ベースの伸びが鈍化しましたが、上記増収が奏功し、前回予想を上回る増益となる見込みです。

なお、通期連結業績予想の修正においては、期中平均レートを132円/USドル、138円/ユーロとしております。

## 2. 剰余金の配当

### (1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年2月14日公表)	前期実績 (2021年12月期)
基準日	2022年12月31日	2022年12月31日	2021年12月31日
1株当たり配当金	30円00銭 普通配当 25円00銭 特別配当 5円00銭	25円00銭 普通配当 25円00銭	25円00銭 普通配当 23円00銭 特別配当 2円00銭
配当金総額	593百万円		494百万円
効力発生日	2023年3月28日		2022年3月25日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

### (2) 理由

当社は経営体質の強化と今後の事業展開のために必要な内部留保等の充実を勘案しつつ、株主の皆さまに安定的かつ継続的な利益還元を実施することを基本方針としております。

今回発表の2022年12月期通期連結業績予想の修正のとおり、過去最高売上高を計上したことで利益面においても前予想を上回る見込みであることから、配当による利益還元を一層充実させるべく、2022年12月期の期末配当において1株当たり5円の特別配当を実施することといたしました。これにより、2022年12月期の年間配当は1株当たり25円の普通配当に5円の特別配当を加えた30円となります。

なお、本件につきましては2023年3月28日開催予定の第83回定時株主総会に付議する予定です。

(注) 上記の業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づき作成されております。

実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる場合があります。

以上